

計画の名称	大丹波圏域広域観光活性化計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	兵庫県												
計画の目標	大丹波圏域において、北近畿豊岡自動車道や舞鶴若狭自動車道、平成27年度に全線開通した京都縦貫自動車道を軸として、観光拠点間のアクセス強化等により周遊観光を促進し、観光エリアとしての魅力を高め、広域的な地域の活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,086	A	7,086	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27	中間目標値 H29末	最終目標値 H32末
1	【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数1400万人(H27)から1469万人(H32末)に増加(69万人(5%)の増加) 【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数) / (H27年度時点の年間観光入込客数) H26年度実績	1400万人	1442万人	1469万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数430万人(H27)から451万人(H32末)に増加(21万人(5%)の増加) 【兵庫県 単独目標】 丹波市・篠山市における観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数) / (H27年度時点の年間観光入込客数) H26年度実績	430万人	443万人	451万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。 その他事項については、備考-1に記載。								

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国)372号 丹南バイパス	バイパス L=1.0km	篠山市						299	-	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)篠山山南線 川代工区	バイパス L=2.1km	篠山市						1,747	-	
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)春日栗柄線 野瀬工区	現道拡幅 L=1.1km	丹波市						560	-	
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府県道	改築	(主)西脇篠山線 味間工区	バイパス L=1.2km	篠山市						980	-	
	A11-005	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	一級	改良	(一)竹田川 市島工区	井堰2基、市の貝川合流点処理	丹波市						2,700	-	
	A11-006	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	一級	改良	(一)加古川 氷上工区	河川改修 L=1.6km	丹波市						800	-	
											小計						7,086		

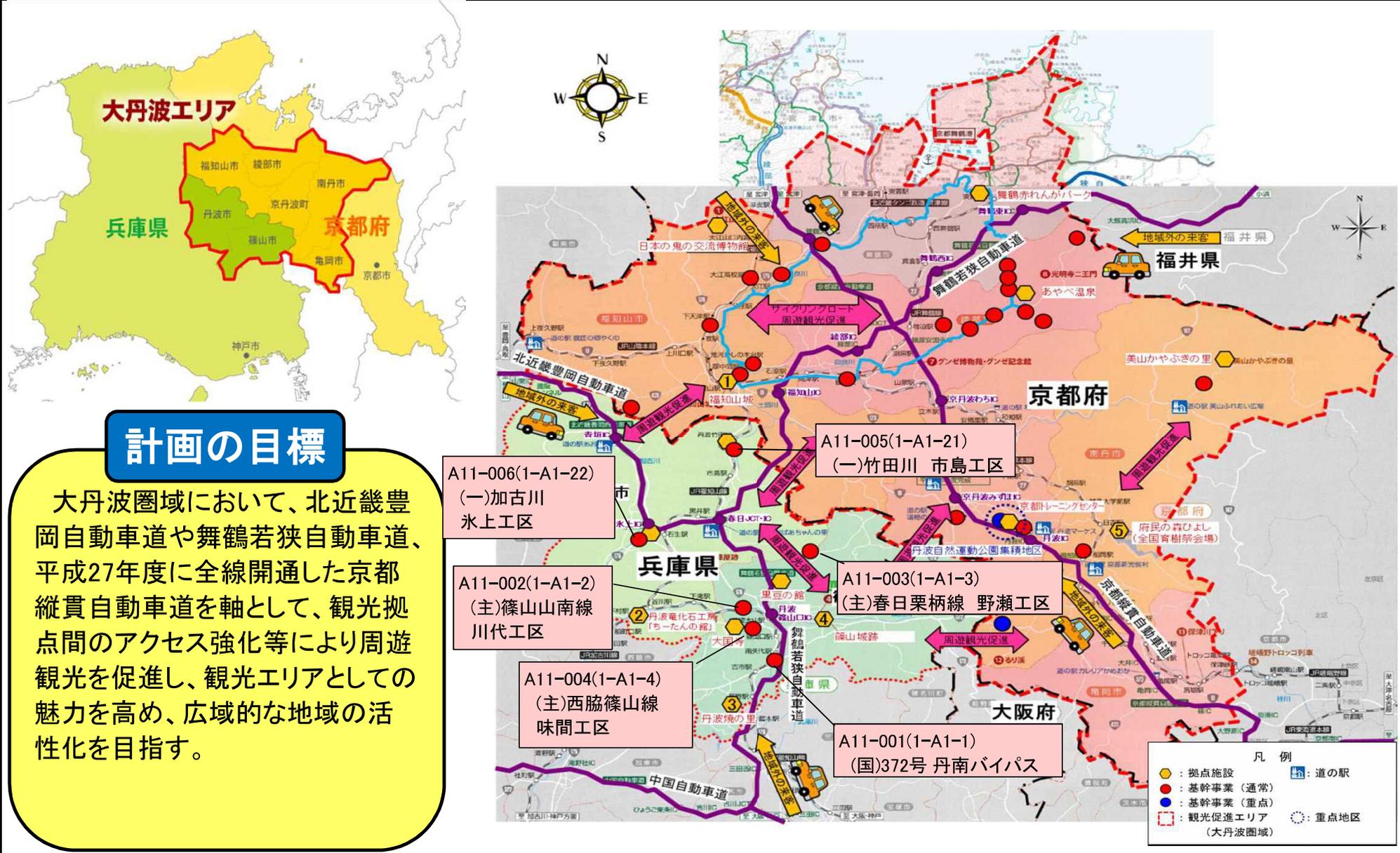
(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	293	406	334		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	293	406	334		
前年度からの繰越額 (d)	0	173	127		
支払済額 (e)	120	452	274		
翌年度繰越額 (f)	173	127	187		
うち未契約繰越額 (g)	50	49	56		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	17.06	8.46	12.14		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との調整に時間を要したため		関係機関との調整に時間を要したため		

計画の名称	1 大丹波圏域広域観光活性化計画	交付対象	兵庫県 (京都府と連携)
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称:大丹波圏域広域観光活性化計画 事業主体名:兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 ④ 環境基本計画 5 その他(以下の空欄に計画名を記載)</small>	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○